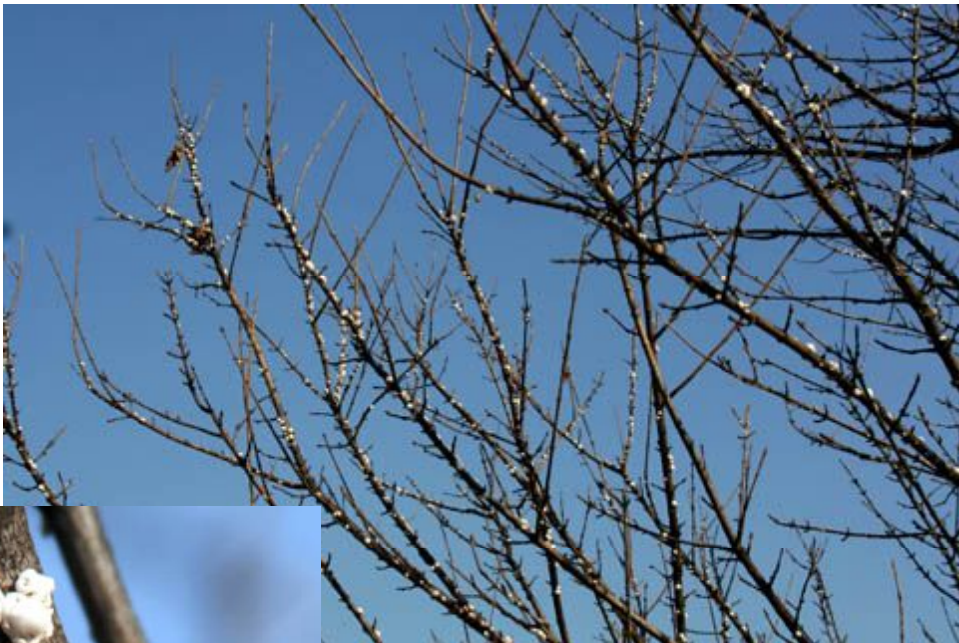


枯れ木に花を咲かせましょう! ・ ・ ツノロウムシ



街路樹の枯れ枝に何やら白いモノが枝一杯に付いていた。枝を振ってみると、意外と簡単にポトポトと落ちた。落ちたモノを触ってみると、なんだか妙な柔らかさ。枝に付いていた側中央には赤茶色の部分が見える。軽くつぶしてみたたら、赤い汁が出て来た。何だか気持ち悪い!

ところでこれは何だろう? 実? 花?

いえいえ、これは『カイガラムシ』の仲間『ツノロウムシ』でした。

カイガラムシに特徴的な形質は体を覆う分泌物で、虫体被覆物と呼ばれている。この虫体被覆物の主成分は余った栄養分と排泄物らしい。

そして、この『ツノロウムシ』の場合は、灰白色の大きなドーム型ロウ殻をつくる仲間なのである。虫体は暗赤褐色～暗紫褐色をしている。

そう中央部分の赤茶色の部分が体、赤い汁は体液というわけである。これが昆虫とは・・・虫も色々である。

虫体被覆物
(ロウ殻)



虫体

